

## 「東京電力自然学校」の概要

### 1. 具体的な活動内容

#### 「自然体験」

尾瀬の原生自然や、発電所敷地内に保全・創出した緑地を中心として、多くの方々に自然の中で楽しい時間を過ごしていただくとともに、単に知識を身につけることにとどまらず、自然の大切さを「感じ」、その好奇心に対して「調べ」、日常の「行動」につなげていただく活動を実施します。

【具体例】尾瀬や発電所での自然観察会、エコツアー など

#### 「人材育成」

次世代層を中心とした幅広い世代の方々に環境問題に対する意識を高めていただくために、環境やエネルギーについて学ぶ講座や自然体験などの教育支援活動を行います。

【具体例】・学習指導要領に沿った環境体験学習の実施

- ・教職員対象の環境教育研修会
- ・環境教育プログラムの開発・実践 など

#### 「調査・研究」

当社は、自社の保有する豊かな自然環境を活用し、生物の生態調査や研究を進めています。そこから得られた成果について、自然学校活動のプログラムに反映し、社外の皆さまとともに、自然に対する理解、認識を深め、自然と人間との共生について深く考えていきます。

【具体例】・電力設備における環境創造の調査・研究

- ・尾瀬地域における二酸化炭素固定に関する調査・研究 など

#### 「自然環境保全」

長年にわたり尾瀬の自然保護や、発電所敷地内の緑地の保全・創出に取り組んできた実績をもとに、自社の保有する自然環境資産において、社外の皆さまとともに、その地域に生息・生育する動植物の棲みやすい環境づくりに努めます。

【具体例】・尾瀬における木道敷設やアヤマ平の回復

- ・ブナ植林ボランティアやゴミ拾い等の実施 など

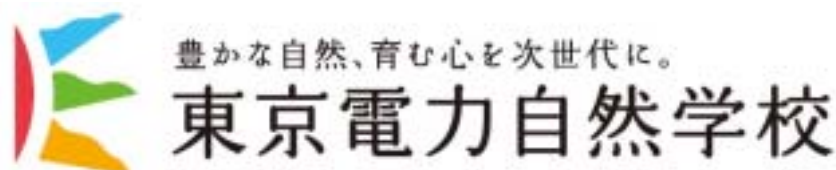
### 「地域協働」

首都圏を中心とした当社サービス区域や発電所の立地地域において、地元やNPOの方々と共に環境保全活動を積極的に推進し、地域協働の輪を広げていきます。

【具体例】・足尾の山々に100万本の木を植えるNPO法人「足尾に緑を育てる会」の植林プロジェクトに協力・参加。

・地元の方々と協調し、富士山南東面の緑化推進のためフジアザミの保護・育成活動を実施 など

## 2. ロゴマークについて



太陽の光と、Earth（地球）、Energy（エネルギー）、Eco（環境・生態系）の3つの「E」をイメージしています。

色については、赤；太陽の輝き、青；水と空気、緑；みどりの森、茶；大地を表しており、多様な生物と環境を守り育ていく思いをロゴマークに込めています。

## 3. 体制について

校長：田村 滋美（東京電力株式会社 会長）

副校長：竹内 純子（東京電力株式会社 尾瀬保護活動担当）

事務局長：影山 嘉宏（東京電力株式会社 環境部長）

アドバイザー委員会

：社外の自然環境に関する専門家、教育関係者等を中心に、7～8名程度を予定しております。

## 4. 専用窓口の設置について（平成20年4月1日より）

専用窓口を設け、具体的な活動のご案内やお客さまのご質問等におこたえいたします。なお、6月中にホームページをオープンする予定です。

【電話】03-3451-5945

（受付時間：土・日・祝日・年末年始を除く午前9時～午後5時）

【メール】nature\_school@tepcoco.jp

以上